昭和十五年十月

湯淺文庫圖書目錄

追加第四

（自昭和十四年四月
至昭和十五年三月）

行啓記念山口縣立山口圖書館

湯淺文庫について

一、「湯淺文庫」とは本縣出身湯淺倉平閣下の御寄贈にかゝはる圖書を收めたものであるが其の御寄贈は大正十年七月以來今日まで十有九年の長きに亘つて繼續せられてゐる茲に本目錄刊行にあたり閣下愛鄉の御厚情に對し重ねて深甚なる謝意を表する次第である

一、本目錄は昭和十四年十月刊行の「湯淺文庫圖書目錄追加第三」の續編であつて昭和十四年四月より同十五年三月までの一ヶ年間に寄贈せられたる圖書を前例によつて收錄したものである

昭和十五年十月

行啓記念山口縣山口圖書館

湯淺文庫圖書目錄

自昭和十四年四月
至昭和十五年三月

○○○ 總記

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
日本文化團體年鑑 昭和十四年日本文化中央聯盟編		昭和一四	一	ュ 〇三〇	四五六
啓明會講演集 第八八回 森林と治水(諸戸北郎)○第九〇回 滿支の文化工作(下村宏)		昭和一四	二	ュ 〇三一	一〇六
國際文化事業パンフレット 第一〇輯 太陽にちなむ傳說の國ペルーの話	外務省文化事業部編	昭和一三	一	ュ 〇三一	一〇六
國民自覺運動パンフレット 第一九輯 日本肇國の大精神	中村直勝	昭和一四	一	ュ 〇三一	一一六
國民自覺叢書 第一編 日本文化の本質を語る(久松潛一)○第二編 戰時の財政と經濟(土方成美)○第三編 農業問題の今日と明日(東畑精一)○第四編 日本文化の方法(芳賀檀)○第五編 戰爭的世代と產業(高木友三郎)○第六編 日本文化と日本精神(山田孝雄)○第七編 日本に於ける統制經濟(本位田祥男)	日本文化中央聯盟編	昭和一四	六	ュ 〇三一	一一六
婦人講座	社會教育協會編	昭和一四	三	ュ 〇三一	五二六
第一〇編 銃後婦人の活動(吉岡彌生等)○第一一一編 無駄のない家庭管理(德山敬子)○第一一二篇 母性の勝利(安倍季雄)○第一一三篇 皇室と御日常(松平俊子)○第一一四篇 これからの生活樣式(社會教育協會編)○第一一五篇 常用食品の科學(和田富起)○第一一六篇 物價高と燃料經濟(社會教育協會編)○第一一七篇 支那の婦人(米內山庸夫)○第一一八篇 時局下の家庭教育(田中寬一)○第一一九篇 婦人に贈る言葉(穗積重遠)○第一二〇篇 榮養改善と共同炊事(教育教育協會)					
文明協會ニューズ 第一四九輯 日本と世界○第一五〇輯 日本と世界○第一五一輯 日本と世界	文明協會編	昭和一四	三	ュ 〇三一	五六六
金雞學院刊行集 晴耕雨讀讀本(菅原兵治編)		昭和一四	一	ュ 〇三一	一六一
聖賢遺書新釋叢刊 二二 孝經入門(安岡正篤)	金雞學院編	昭和一四	一	ュ 〇三一	一六一
日本諸學研究 第一 我國上代に於ける氏族統合の問題(森田誠一)○第二 書記編纂者の思想に就いて(木村俊夫)○第三 日本書記の編纂に就い	日本文化中央聯盟編	昭和一四	六	ュ 〇三一	四五六

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
て（鴻巣集雄）○上代に於ける國史編纂についての一考察（阿部武彦）第四　繼統法から見た支那の國家觀念（高橋峻）○第五　計畫經濟の理論（國弘員人）○第六　黄河流域に於ける農業形態の經濟地理的考察（江澤讓爾）					
松平春嶽全　第一卷	蘆田伊八編	昭和一四	一ュ	〇三一	六三三
民衆文集庫	社會教育協會編	昭和一四	二ュ	〇三一	六六二
第一二三篇　報國の誠（加藤咄堂）○第一四五輯　やまと心（乙竹岩造）○第一四六輯　先哲の言葉（西川光二郎）○第一四七篇　青年と健康（佐藤正）○第一四八篇　興亞の精神（加藤咄堂）○第一四九篇　建設戰線の强化（社會教育協會編）○第一五〇篇　興亞青年の使命（五來欣造）○第一五一篇　望ましき青年（西村眞次）○第一五二篇　雜誌と人生（穗積重遠）○第一五三篇　大自然に學べ（田部重治）○第一五四篇　肚をつくれ（高神覺昇）○第一五五篇　皇紀二千六百年を迎へて（中村孝也）（本篇ヨリ青年講座ト改題）					
花ふゞき　再版	小笠原長生	昭和一〇	一ュ	〇四一	〇一〇
隨筆評論集　朝鮮・滿洲・支那	下村宏（海南）昭和一四		一ュ	〇四一	三六六
生活改善	下村宏	昭和一三	一ュ	〇四一	三六六
青嵐隨筆	永田秀次郎	大正一三	一ュ	〇四一	四一三
戰爭の横顔	長沼弘毅	昭和一四	一ュ	〇四一	四一四

〇七〇　鄉土志料

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
幕末防長勤王史談　第六	得富太郎	昭和一三	一ュ	〇七〇	三一三
歌集庭笹	松田德一	昭和一三	一ュ	〇七三	六三三
兒玉神社献詠歌詩集	拓殖新報社編	昭和一四	一ュ	〇七四	一八〇
前田翁と村上藤吉氏乃木將軍と桂先生	西川太治郎	昭和一三	一ュ	〇七四	四一
明治維新の先驅者中山忠光朝臣	川崎又次郎	昭和一四	一ュ	〇七四	四〇五八
精神指導要項	生野哲人	昭和一四	一ュ	〇七七	二六〇

一〇〇　哲學、宗教

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
回教の名稱考及教義信條の概要	大日本回教協會編	昭和一四	一ュ	一一〇	三〇四
苦惱するソ聯回教民族	大日本回教協會編	昭和一四	一ュ	一一〇	三〇四
回教世界と日本　三版	若林半	昭和一三	一ュ	一一〇	九一五
神祇奉齋要略	住田平彦	昭和一四	一ュ	一三〇	二六三
大相告書	西崎金三郎編	昭和一四	一ュ	一三七	四二三
皇室と寺院	佐野惠作	昭和一四	一ュ	一三〇	二四
解說大日本校訂大藏經	重田勘次郎	昭和一三	一ュ	一三五	二一三
內觀の法　二版	富士川游	昭和一三	一ュ	一三七	五三一

文化の權威　椎尾辨匡　大正九　一　ュ　二七　二〇〇

國民精神總動員と最高道德　德科學研究所編　昭和一三　一　ュ　一七四　三〇三

道德科學及び最高道德の實質並に內容の概略　道德科學研究所編　昭和一三　一　ュ　一七四　三〇三

道德科學專攻塾別科記念寫眞帖　黑田金剛　昭和一三　一　ュ　一七四　三〇三

廣池博士全集　廣池千九郎　昭和一二　四　ュ　一七四　五八〇

第一冊　支那文典○第二冊　東洋法制史序論○東洋法制史本論○第三冊　伊勢神宮○皇室野史○日本憲法淵原論○第四冊　日本文法てにをはの研究○中津歷史○富豪資本家會社商店の經營者重役高級職員各位並に官憲に稟告

國民外交と公德　木村元雄　昭和一二　一　ュ　一七四三　一六八

人生の天則　加藤政之助　昭和一四　一　ュ　一七四三　一三〇

皇帝陛下御訪日ニ關スル記錄　滿洲國國務院總務廳編　康德二　一　ュ　一七四三　一一六

禁城の熹光（滿洲皇帝陛下御生立記　英、ジョンストン著、關東支洋社出版部譯）　昭和一〇　一　ュ　一七四三　六六三

國民精神總動員新展開要項　國民精神總動員中央聯盟編　昭和一四　一　ュ　一九〇　一一六

神國日本之顯現　吉井良晃　昭和一三　一　ュ　一九〇　七二〇

二〇〇．教育

事變と教育（時局國民精神讀本第七輯）　吉田熊次　昭和一三　一　ュ　二〇〇　七三三

教育パンフレット　社會教育協會編　昭和一五　三三　ュ　二〇三　二二一

○第三三三輯　新日本の建設（林銑十郎）○第三三四輯　青年獨逸の姿（朝比奈策太郎）○第三三五輯　事變下の農村問題（助川啓四郎）○第三三六輯　新東亞の建設と帝國海軍（加藤尙雄）○第三三七輯　歐羅巴から日本を見る（牧野良三）○第三三八輯　國本の涵養と農業教育（松井謙吉）○第三三九輯　支那の民族性（後藤朝太郎）○第三四〇輯　國民の幸福と健康（岡田文秀）○第三四一輯　貿易資源と軍備（渡邊銕藏）○第三四二輯　時局下の新社會政策（美濃口時次郎）○第三四三輯　勤勞少年の指導（野口彰、木田徹郎）○第三四四輯　國民學校案の精神（入澤宗壽）○第三四五輯　映畫法の教育的任務（水谷德男）○第三四六輯　世界を動かす人々（前田河廣一郎）○第三四七輯　一億一心百億貯金（松村光三）○第三四八輯　平和の戰士宣撫班（社會教育協會編）○第三四九輯　作業と健康（暉峻義等）○第三五〇輯　日本を繞る石油資源（上床國夫）○第三五一輯　健康農村の樹立（楠本正康）○第三五二輯　戰爭と保健の諸問題（雨宮保衞）○第三五三輯　二宮尊德夜話（石川謙）○第三五四輯　新國家思想（西晉一）○第三五五輯　總動員と國民生活（社會教育協會編）○第三五六輯　御民吾生ける驗あり（廣濱嘉

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
雄）○第三五七輯　興亞青年の覺悟（社會教育協會編）○第三五八輯　改正郵便年金の話（生目武夫）○第三五九輯　亞細亞は動く（高岡大輔）○第三六〇輯　新滿洲の風土と文化（白鳥省吾）○第三六一輯支那事變と文化工作（橋爪克己）○第三六二輯　戰爭と人口問題（永井亨）○第三六三輯　戰爭と藝術（長谷川如是閑）					
尙志教育叢書　第十五編（尙志第二百十五號）	昭和	一五	一	二〇三	二七〇
中を執り正に嚮ふ（西晉一郎）東洋史はもはや外國史ではなくなつた（及川儀右衞門）					
明治以降教育制度發達史　第五卷―第一二卷	教育史編纂會編	昭和一四	八	二〇四	一七〇
學術研究奬勵資金及事業便覽　昭和十四年度	帝國學士院編	昭和一四	一	二〇五	三〇一
研究費補助事項調査（自大正二年至昭和十三年）	帝國學士院	昭和一四	一	二〇五	三〇一
東方學報　第九册	東方文化學院東京研究所編	昭和一四	一	二〇五	三〇五
東方學報　第一〇册ノ一	東方文化學院東京研究所編	昭和一一	一	二〇五	三〇五
研究抄錄　第七輯	服部報公會編	昭和一三	一	二〇五	五三三
服部報公會研究報告　第八輯	服部報公會編	昭和一四	一	二〇五	五三三
大日本帝國文部省第六十三年報（自昭和十年四月至昭和十一年三月）	文部大臣官房文書課編	昭和一四	二	二〇五	六一
愛育研究會紀要　教養部第一輯乳幼兒の精神發達	愛育研究所編	昭和一四	一	二一一	〇〇
歌ふ子供たち	高島巖	昭和一四	一	二一一	三一三
東京帝國大學一覽　昭和十四年度	同大學編	昭和一四	一	二五二	一〇
實業教育資料第四篇　蒙疆の資源と經濟	大島豐	昭和一四	一	二六一	二三一
家庭學校四十年略史	家庭學校編	昭和一四	一	二六五	一三〇
オリンピツク精神　第十二回オリンピツク東京大會組織委員會編		昭和一三	一	二七二	三〇一
第十二回オリンピツク東京大會組織委員會報告書	同委員會編	昭和一四	一	二七三	三〇一
第十二回オリンピツク東京市報告書	東京市役所編	昭和一四	一	二七三	三〇一
青年會館宿泊施設調査	大日本青年團編	昭和一四	一	二八〇	三〇四
青年勤勞報國運動の概況	大日本青年團本部編	昭和一四	一	二八〇	三〇四
單位青年團基本調査　昭和十年度	大日本青年團本部編	昭和一四	一	二八〇	三〇四
地方團現況調査　昭和十三年度	大日本青年團本部編	昭和一四	一	二八〇	三〇四
帝室博物館學報第八（金峰山經塚遺物の研究）	帝室博物館編	昭和一二	一	二四一〇七	三〇三
東京帝室博物館諸演集　第一二册	帝室博物館編				

東京帝室博物館復興開館陳列案内　帝室博物館編　昭和一三　一ユ二八四　三〇一

三〇〇　文學

語文論叢　京城帝國大學文學會編　昭和一四　一ユ三〇〇　一二〇
定本吉野朝の悲歌　川田順　昭和一四　一ユ三一六　一九三
幕末愛國歌　川田順　昭和一四　一ユ三一六　一九三
吉野朝の悲歌　川田順　昭和一三　一ユ三一六　一九三
朝鮮を訪ふ　弓削幸太郎　昭和一四　一ユ三一六三　七一
山の苞　井上德太郎（苔溪）昭和一〇　一ユ三一六三　〇四〇
磯の松風　三樹樹三　昭和一四　一ユ三一六三　六一
鶴浦歌集　山階宮家　昭和一四　一ユ三一六三　七六三
詩客南洲　朝倉每人　昭和一三　一ユ三三五一　二〇一
多山詩稿（帙入）　朴榮喆　昭和一四　一ユ三三五一　五一
江寧詩稿　堀田赤誠　昭和一四　一ユ三三五一　五三三
大東策　遠藤隆吉　昭和一四　一ユ三三六一　〇六三

四〇〇　歴史

南部家文書　吉野朝史蹟調査會編　昭和一四　一ユ四〇〇三　七三四
金峯山經塚遺物の研究（帝室博物館學報第八）　帝室博物館編　昭和一三　一ユ四一〇七　三〇二
日本古文化研究所報告　第三阿蘭陀風説書の研究　板澤武雄　昭和一二　一ユ四一〇七　四五六
日本上古史考　上、下卷（信濃史源考卷一、二）　小山愛司　昭和一五　二ユ四一二　一七六
赤穗事件の檢討　金杉英五郎　昭和九　一ユ四一五二　一四二
館林鄕土叢書　第四輯　同史談會編　昭和一四　一ユ四一七　三三五
白頭山定界碑　篠田治策　昭和一三　一ユ四一八、二四三
朝鮮人名辭書　索引　朝鮮總督府中樞院編　昭和一四　一ユ四三二一　三七〇
邦彥王行實、　久邇宮家藏版　昭和一四　一ユ四五六　一四四
神陵皇陵巡拜謹記　肥塚正太　昭和一四　一ユ四五六　五三一
後鳥羽天皇を偲び奉る　平泉澄　昭和一四　一ユ四五六　五八〇
秋山定輔は語る　村松梢風　昭和一三　一ユ四五九　〇一七
吳佩孚　岡野增次郎　昭和一四　一ユ四五九　一
忠義の家菊池氏　平泉澄　昭和一二　一ユ四五九　一一三
雙烈聯芳　川瀨太宰先生　東野善一郎　昭和一三　一ユ四五九　一九二
西鄕南洲先生遺訓　濱田正夫編　大正一五　一ユ四五九　二〇一
高野長英傳　高野長運　昭和三　一ユ四五九　三一四
床次竹二郎傳　瀧正雄校閲　前田蓮山編　昭和一四　一ユ四五九　三一四
北雷田尻先生傳　上、下　田尻先生傳記及遺稿編纂會編　昭和八　二ユ四五九　三二八
戸澤正令侯と其著作　福川久藏編　昭和一三　一ユ四五九　三二九
生ける豐太閤　五版　鳥井信治郎　昭和一四　一ユ四五九　三七三

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
新渡戸博士追憶集	前田多門 高木八尺共編	昭和二	一	二四五九	四三五
橋本景岳全集 上、下	景岳會編	昭和一四	二	二四五九	五二六
橋本左内言行錄 再版	山田秋甫	昭和七	一	二四五九	五二六
藤山雷太傳	西原雄次郎	昭和一四	一	二四五九	五二七

四六〇 地誌

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
飯盛山・金剛山縱走	宇野源三郎	昭和一四	一	二四七四	〇四
岡山縣郡治誌 上、下卷	岡山縣編	昭和一三	二	二四七四五	〇〇
國立公園 雲仙大觀	橋本喜造編	昭和一四	一	二四七六	四一二
新增東國輿地勝覽索引	朝鮮總督府中樞院編	昭和一三	一	二四七九	三七〇
校訂 世宗實錄地理志 索引	朝鮮總督府中樞院編	昭和一三	二	二四七九	三七〇
校訂 慶尙道地理志 慶尙道續撰地理誌 附索引	朝鮮總督府中樞院編	昭和一三	二	二四七九	三七〇
天津市治安維持會施政工作報	河北省公署編	中華民國二六	一	二四八三三	三〇一
勞農露國を如何に觀るべきか	增田正雄	大正一三	一	二四八七三	六二三
中南米の旅	丸山鶴吉	昭和一四	一	二四八八五	六八七
支那とは何ぞや	杉市郎平	昭和一三	一	二四八三	二一

五〇〇 法制

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
日本憲法とグナイスト談話	蜷川新	昭和一四	一	二五一三	四四一
委員會制度の研究	田口弼一	昭和一四	一	二五一四	三一三
政友叢書 第二卷 各國政黨の政策・綱領及領袖一覽 立憲政友會政務調査會編		昭和一五	一	二五一四一	二〇七
貴族院資格審査判決例	貴族院事務局編	大正一四	一	二五一四三	一二一
第四十八回 警視廳統計書 昭和十三年	警視廳編	昭和一四	一	二五一六三	一〇二
朝鮮警察概要	朝鮮總督府警務局編	昭和一三	一	二五一六三	三七〇
自治制發布五十周年記念會記錄	自治制發布五十周年記念會編	昭和一四	一	二五一七	二二二
自治制發布五十周年記念誌	內務省編	昭和一四	一	二五一七	四〇〇
躍進日本の政治動向	加藤鯛一	昭和一〇	一	二五一九	一三〇
對米認識の統一に關する所見	小林勇堂	昭和一四	一	二五一九	一五七
維新政府之現況	行政院宣傳局編	民國二八	一	二五一九	一七〇
川島翁の步める道	川島浪速述 中山雪鞋著	昭和一四	一	二五一九	一九二
英國を正視せよ	三土忠造	昭和一四	一	二五一九	六二三
國際制裁論 第一分冊	經濟問題研究所編	昭和一三	一	二五二六	一〇二
大日本外交文書 第五卷 自明治五年一月至明治五年十二月〇第六卷 自明治六年一月至明治六年十二月〇第七卷 自明治七年一月至明治七年十二月	外務省調査部編	昭和一四	三	二五二六三	一〇六

滿洲國出現の合理性　米田村幸策譯著　昭和一一　一ュ五三六　八〇
司法沿革誌　司法省編　昭和一四　一ュ五三七　二五〇
萬機要覽（財用篇 軍政篇）　朝鮮總督府中樞院編　昭和一二、一三　二ュ五三〇　二七〇

五四〇　經濟、社會

〔渡邊經濟研究所〕資料　同研究所編　昭和一四　二ュ五四〇三　九二四
一〇、英國の動き〇　一一、獨逸の空軍
渡邊經濟研究所調査三二（稅制改正案の概觀）　同研究所編　昭和一四　一ュ五四〇三　九二四
植民地問題資料　經濟問題研究所編　昭和一三　一ュ五四八　一〇三
招務要覽　昭和十三年版　拓務省編　昭和一四　一ュ五四八　三一六
滿洲開拓政策基本要綱　拓務省招務局編　昭和一五　一ュ五四八　三一六
東洋拓殖株式會社三十年誌　東洋拓殖株式會社編　昭和一四　一ュ五四八二　三〇七
戰時經濟と預金國家保證　川崎情男　昭和一三　一ュ五四九　一九二
新經濟體制の理論と試案　三浦銕太郎　昭和一四　一ュ五四九　六〇八
恩賜財團　慶福會事業概要　昭和十二年度　同會編　昭和一四　一ュ五六〇三　一〇六
〔服部報公會〕事業報告　昭和十三年度　服部報公會編　昭和一四　一ュ五六〇三　五
貧苦の人々を護りて　山田節男　昭和一四　一ュ五六〇三　七六三
親子中心の家族と社會秩序（國民精神文化類輯第二二輯）　河村只雄　昭和一四　一ュ五六八　一九六
大日本帝國統計年鑑　第五七、五八回　內閣統計局編　昭和一四　二ュ五八二　四〇
人口動態統計　昭和十三年　內閣統計局編　昭和一四　一ュ五八二　四〇一
死因統計　昭和十三年　內閣統計局編　昭和一四　一ュ五八二　四〇三
昭和十年國勢調査報告　第一卷全國編　內閣統計局編　昭和一四　一ュ五八二　四〇七

六〇〇　理學、醫學

災害科學研究所報告第二號　西大阪の地盤沈下に就いて　第一報　日本學術振興會災害科學研究所編　昭和一四　一ュ六〇四　四五六
那須產變形菌類圖說　總說增補　服部廣太郎編　昭和一四　一ュ六六五二　五三三
人蔘史　第六卷人蔘雜記篇　朝鮮總督府專賣局編　昭和一四　一ュ六六五三　三七〇

七〇〇　工學、兵事

電力問題の將來に就て　上石丸甫　昭和一五　一ュ七二四　一六〇
電力問題座談會　電力問題研究所編　昭和一四　一ュ七二四　三六八
電力問答　日滿經濟研究所編　昭和一四　一ュ七二六　四三六
ラヂオ年鑑　昭和十五年　日本放送協會編　昭和一三　一ュ七二六　四五六

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
鑛物資源開發特許 深層採鑛法	深礎工業社編	昭和一四	一	ユ七四〇	二六三
軍國の母の姿 第一、二輯	國民精神總動員中央聯盟編	昭和一四	一	ユ七七〇	二一六
愈々國家總力戰 五〇版	山本英輔	昭和一四	一	ユ七七〇	七六六
松井大將傳	横山達三(健堂)	昭和一三	一	ユ七七二	六三〇
獨逸と短期戰	獨、シュテルンベルヒ著 經濟問題研究所譯	昭和一四	一	ユ七七三	二七三
會津鶴ケ城の血戰	井上一次	昭和二	一	ユ七七四	〇四〇
滿ソ國境をゆく	田中萬逸	昭和一三	一	ユ七七四	三四一
劍道讀本	野間恒	昭和一四	一	ユ七九五	四六

八〇〇 美術

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
日本美術の精神	横山大觀	昭和一三	一	ユ八〇〇	七一七

九〇〇 産業、家政

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
青年の産業研究	大日本青年團本部編	昭和一四	一	ユ九〇〇	三〇四
始政四十周年記念 臺灣博覽會協賛會誌	臺灣博覽會協賛會編	昭和一四	一	ユ九〇四一	三〇九
始政四十周年記念 臺灣博覽會誌	臺灣博覽會編	昭和一四	一	ユ九〇四二	三〇九
新東亞の建設と支那の水利灌漑事業	藤井寛太郎	昭和一四	一	ユ九一一	五二〇
日本茶の世界的進出と回教徒	大日本國教育協會編	昭和一四	一	ユ九一七	三〇四
帝室林野局五十年史	帝室林野局編	昭和一四	一	ユ九三一	三〇三
ひのき分布考 同資料	帝室林野局編	昭和一二、一三	二	ユ九三四	三〇三
貿易奬勵資料 第二三輯(海南島の研究)	貿易奬勵會編	昭和一四	一	ユ九六七	五〇〇
日本貿易史綱	鶴見左吉雄	昭和一四	一	ユ九六七	三八六
開港と生絲貿易 中、下卷	藤本實也	昭和一四	二	ユ九六七	五三六
一九三七年各國對外貿易統計 其ノ二	外務省通商局編	昭和一四	一	ユ九六七一	一〇六

稀覯圖書・貴重書・寫眞帖　目錄

書名	著者名	發行年	冊數	分類	番號
正倉院御物圖錄 第一二輯（南倉納物）	帝室博物館編	昭和一三	一	ユ	二八四 三〇二
帝室博物館圖錄 第四期第一二輯	帝室博物館編	昭和一三	一	ユ	二八四 三〇二
四七一 花鳥圖屏風（山下良次筆）〇四七二 同部分圖〇四七三					
烏丸光廣自筆書狀〇四七四 阿彌陀如來立像〇四七五 旅櫛笥〇四七六 樫鳥縅大鎧傳薄金、愛知猿投神社藏〇四七七 白瓷鳳首壺〇四七八 刺繡古裂（黑綸子地桐菊松竹橘澤瀉紋模樣）〇四八〇 舍利容器（朝鮮慶尙北道國慶郡笙里發見）					
奈良帝室博物館歷史圖錄 奈良帝室博物館編	昭和一三	一	ユ	二八四	三〇二
第五輯 山城飯岡車塚古墳出土品					
二一 勾玉管玉及瑠璃玉〇二二 刻文石釧〇二三 石釧〇二四 車輪石及石盒〇二五 車塚古墳景觀及實測圖					
中務集 附解說（尊經閣叢刊）	育德財團複製	昭和一四	一	ユ	二一六三 〇一三
こけ衣 春夏秋冬附解說（尊經閣叢刊）	育德財團複製	昭和一四	四	ユ	三三四 〇一三
溫故知新書 上、中、下附解說（尊經閣叢刊）帙入	育德財團複製	昭和一四	三	ユ	三七三三 〇一三
前田本古事記 上、中、下附解說（尊經閣叢刊）	育德財團複製	昭和一三	一	ユ	四一三 〇一三
今鏡 第四卷附解說（尊經閣叢刊）	育德財團複製	昭和一四	一	ユ	八一五 〇一三
朝鮮史料集眞 上（第一、二、三輯附解說）帙入	朝鮮史編修會編	昭和一〇	一	ユ	四一八 三七〇
日本美術略史 附圖版	帝室博物館編	昭和一三	一	ユ	八〇一 三〇二
福壽海	橋本喜造編	昭和一四	一	ユ	八一三 五三六
春蘭秋菊 帙入	南方繪畫協會編	昭和一〇	帖一	ユ	八一四 三〇五
前田本 入木祕書 附解說（尊經閣叢刊）	育德財團複製	昭和一四	一	ユ	八一五 〇一三
香橘白菊帖	上山柑翁編	昭和一四	帖一	ユ	八五二 一六七
靖國神社臨時大祭記念寫眞帖 靖國神社臨時大祭委員編		昭和一三	帖一	ユ	八五二 七二一
靖國神社臨時大祭記念寫眞帖 昭和十四年四月	靖國神社臨時大祭委員編	昭和一四	帖一	ユ	八五二 七二一

雜誌

アマゾニヤ産業研究所月報
インターナショナル・コンクレーション
歐洲事情叢書
歐洲の動亂と國民の覺悟
回教世界
外交
外交時報
外交新聞
學術振興
華文大阪毎日
企畫
金鷄學報
近代文明の崩壞と思想動搖の中心
クリチック
經濟學研究
京城土木建築會報
檢査報告
興亞
皇學會雜誌神ながら
鑛工滿洲
皇道發揚
國際知識
國體の原理
國民自覺運動パンフレット
國民新報
御料林
財界趨勢月報
産業報國
史淵
支那
事變下に於ける物價變動
社會事業彙報
社會福利
新國策
新支那事情普及叢書
聖訓
生計費指數
世界重要經濟統計
戰爭と公債
大陸政策の基調としての內鮮經濟一體化に就いて
拓務時報
調査週報
朝鮮

朝鮮及滿洲
朝鮮畫報
朝鮮實業倶樂部
朝鮮總督府通報
朝鮮鐵道協會會誌
朝鮮佛教
鮮滿之衛生
ドイツ語
獨逸の青年宿泊所
獨逸の軍需品貯藏と供給國
東亜週報
統計時報
東洋思想研究
東洋の光
道路の改良
讀　書
鳥　居
日伯中央協會情報
日本學術振興會年報
日本公論
日本と大陸
反共情報
萬　博

非常時と生活刷新
ヒツトラー、ユーゲント活動の十二ケ月
フアツショ
文學研究
文化日本
文明協會ニユーズ
貿易奬勵資料
北　電
保險調査彙報
民族會議
宮本武藏　五輪書と劍道の精神
無名閣叢書
理研コンツエルン新版
林業試驗報告
靈　響
列國政策彙報
老莊研究の現在的意義
勞働統計
露西亞月報
和合の力
渡邊經濟研究所資料
其　他

洋書目錄

著者名	書名	發行年	冊數	分類	番號
Imperlai Household Museum.					
	The Imperial Treasures In The Shosoin. Vol. 1.2.3.4.6		五	ヰ 010	ラ11
Dingle.	Second thoughte on democracys in Spain.	1937.	1	ヰ 100	D1ル
Nagata and Erickson.					
	Hearts aglow, Stories of lepers by the Inland Sea.	1938.	1	ヰ 三10	ラ10
Goverment of Formosa.	Report of the control of lhe aborigines in Formosa.	1911.	1	ヰ 四中0	ラ1中
Annual Report on Administration of Tyosen.		1937—38.	1	ヰ 四中0	K10三
Goverment-General of Tyosen.					
	Annual report on Administration of Tyosan.	(1937—38)	1	ヰ 五10	ラ1四0
Board of Turist Industry Japanese Gverment Railways.					
	ABC of Japanese Art.	1937.	1	ヰ ハ00	ラ110